

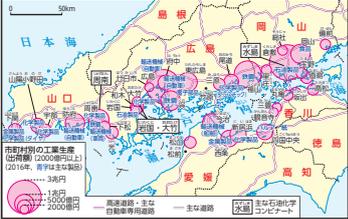
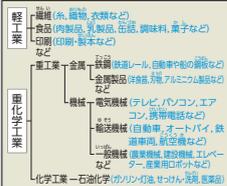
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.194-195 瀬戸内海の家運と工業の発展
2. 目標 (1) 瀬戸内の臨海部に工業が発達した経緯を、自然環境や原料・製品の輸送の面から理解できる。
(2) 瀬戸内工業地域で、新しい工業製品の開発や生産が進められている理由を考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・瀬戸内で工業が発達した経緯を、地形の特色や原料・製品の輸送に着目して理解している。
思考・判断・表現	・瀬戸内工業地域で新しい工業製品が生産されている理由を、企業の海外進出や外国との競争などから多面的に考察し、説明している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	<p>1. 「臨海部に集まる製油所や化学工場」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。</p> <p>2. 石油化学工業と船との関わりを予想し、学習課題への見通しを持つ。</p>	 <p>p.194 1</p> <p>写真の施設は、どのような施設なのだろうか。</p> <p>石油化学コンビナートと「船」との関わりを予想してみよう。</p>	<p>○ 「臨海部に集まる製油所や化学工場」の写真を題材にし、石油化学コンビナートには多くの石油化学の工場が集まっていることに気付かせながら、本時への導入を図る。</p> <p>○ 石油化学コンビナートと船を使った輸送との関わりを予想させる。</p> <p>○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。</p>
学習課題：瀬戸内海に面した地域では、船を使った輸送を利用して、どのように工業を発達させてきたのだろうか。			
展開	<p>3. 瀬戸内工業地域の特色を理解する。</p> <p>(1) 工業都市の分布の特色</p> <p>(2) 主な工業製品</p>	 <p>p.195 4</p> <p>この地域の工業都市の分布の特色を確認しよう。</p>  <p>「石油化学コンビナート」</p>  <p>p.160 4</p> <p>この地域では、どのような工業製品の生産が盛なのだろうか。</p>	<p>○ 工業生産の盛んな都市の分布に着目させる。</p> <p>◆ 瀬戸内の臨海部に集中していることに気付かせる。</p> <p>○ 瀬戸内の臨海部で生産が盛んな工業製品をまとめさせる。</p> <p>◆ 石油化学製品や鉄鋼、輸送機械などの生産が盛んなことを理解させる。</p> <p>○ 水島コンビナートで生産されている製品を調べさせる。</p> <p>◆ 原油から作られるガソリンや、プラスチック、合成繊維などの原料のほか、鉄鋼や自動車も生産されていることを理解させる。</p> <p>○ 工業分類表から、重化学工業が中心となっていることに気付かせる。</p>

展
開

4. 瀬戸内の沿岸部に重化学工業が発展した理由を考察する。



p.194 2



p.195 5

資料Ⅱから	(例) 塩田の広大な跡地があり、工業用地として利用できたから。
資料Ⅲから	(例) 大きくて重い製品を船で海外に輸出するのに便利だから。
その他の面から	(例) 海に面しているため、原油や鉄鉱石などの原材料を海外から輸入して加工するのに便利だから。

なぜ、瀬戸内の沿岸部に重化学工業が発展したのだろうか。

5. 瀬戸内の工業が変化していることを理解し、その理由を考える。

(1) 新しい工業製品



p.195 6

- ① 山口県宇部市、愛媛県新居浜市… ① 医薬品 や ② 医療器具 などの開発
- ② 愛媛県松前町… ③ 炭素繊維 の生産
- ③ 広島県竹原市…電気自動車用の ④ 蓄電池 の生産

この地域で新しく開発や生産されている工業製品をまとめてみよう。

(2) 変化の理由

なぜ、この地域の工業が変化しているのだろうか。

6. 本時のまとめをする。

瀬戸内で工業が発達した理由を、自然条件や原料・製品の輸送手段に着目して説明しよう。

7. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

整
理

○ 学習プリントを活用し、瀬戸内で工業が発展した理由を、自然条件や輸送手段に着目して考えさせ、まとめさせる。

◆ 瀬戸内海は遠浅な場所が多く、塩田が作られてきたことに触れ、工場用地として使える広い土地があったことに気付かせる。

◆ 原料や製品の輸送に便利な海沿いに工業が発展したことを理解させる。

○ 学習プリントを活用し、この地域で新しく生産されている工業製品をまとめさせる。

○ 製品について深入りせず、工業の変化をとらえる程度にとどめる。

○ この地域の工業製品が変化している理由を考えさせる。

◆ 日本企業の海外進出が進み、現地で原料を調達する動きが強まっているため、国内の石油化学製品の需要が減ってきていることを理解させる。

◆ 瀬戸内で工業が発達した理由について、塩田や遠浅の海岸を活用した広い工業用地や原料・製品の輸送などに着目して説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。